

第69回 山梨県中学校バスケットボール選手権大会本戦トーナメント要項

- 1 主催 山梨県教育委員会 山梨県小中学校体育連盟 (一社) 山梨県バスケットボール協会
 2 主管 山梨県小中学校体育連盟バスケットボール専門部
 3 期日 令和8年5月24日(日)・5月31日(日)・7日(日) (3日間) 予備日 6月14日(日)
 ※ただし、支部大会または、支部代表決定戦は大会打合せ会議の会期までに、各支部の実態に応じて、開催する。

4 会場	1日目(24日)	男子	小瀬スポーツ公園体育館 昭和町総合体育館	I・Jコート A・Bコート
		女子	榊形総合運動公園体育館 鐘山スポーツセンター	K・Lコート G・Hコート
	2日目(31日)	男子	甲斐市双葉体育館 昭和町総合体育館	E・Fコート A・Bコート
		女子	榊形総合運動公園体育館 鐘山スポーツセンター	K・Lコート G・Hコート
	3日目(7日)	男子	昭和町総合体育館	A・Bコート
		女子	韮崎アリーナ	C・Dコート

※ただし、支部大会または、支部代表決定戦は各支部の実態に応じて、各会場で実施する。

- 5 出場資格
- ・各支部の推薦または予選を経て代表権を得たチームとし、所属長の承認を得たチーム。
 - ・前年度の新人大会のベスト4の支部は1チーム増として、支部シードとする。
 - ・保護者参加同意書を提出した者。
 - ・合同チームの大会参加については、「山梨県小中学校体育連盟主催大会合同チームによる大会参加規程」の条件を充たしたチーム。
 - ・地域クラブ活動については、市町村運営団体が認め、山梨県小中学校体育連盟にて承認されたものとする。
 ※男女ともチーム数により出場枠を変更する。
 - ・JBA登録については、出場チームでの登録を推奨とする。

支部	甲府	中巨	東山	笛吹	峡南	峡北	吉田	都留	南都	北都	推薦	合計
男	7	8 (2)	4 (1)	4	1	4	1	2	2 (1)	1	0	32
女	6	8 (2)	2	2	2 (1)	4	3 (1)	2	2	1	0	32

()内の数字は支部シード枠数を示している。

- 6 出場人数 1チームは、学校代表者(管理職)・申し込み用紙に記載したコーチ・アシスタントコーチ・外部指導者・マネージャー各1名と選手18名とする。監督・コーチは当該校の教員または部活動指導員とし、マネージャーは当該校の教員または生徒とする。学校長が認め、本専門部の承認を得た外部指導者はベンチ入りできるのは1名までとする。
- 7 競技規則 (公財)日本バスケットボール協会「2026バスケットボール競技規則」とする。また「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則って運営し、試合における適正なマンツーマンディフェンスかどうかの判定は、大会主催者が任命したマンツーマンコミッショナーが行うこととする。
- 8 競技方法 トーナメント式優勝戦とし、3位決定戦を行う。※5位～6位決定戦も行う。
- 9 参加料 参加選手一人につき、500円とする。参加料は、各支部大会または、支部代表決定戦から徴収し、組み合わせ会議当日持参すること。なお、納入された参加料については、主催者の都合で中止になった場合を除き、返金はしない。
- 10 申し込み 申込用紙をHPよりダウンロードし、必要事項を記入し、所属長の職印を捺印の上、出場校が各支部部長へ組合せ前日(5月11日(月))までに、参加料と共に提出すること。
 支部部長は申込用紙と参加料があっているか確認した上で、組み合わせ会議当日持参する。また、支部専門部長は支部のメンバー表をEメールにて下記へ提出すること。

韮崎市立韮崎西中学校 橋本 大介
 TEL 0551-22-1431 Eメール: hashimoto-akgk△es-jhs.kai.ed.jp ←△を@にしてください

- 11 組み合わせ ①5月12日(火) 専門部会(事前打合せ会)にて決定する。
 ②県新人大会で1位～6位の支部の支部予選の上位のチームをシードする。(ただし、複数の場合もある。)
- 12 開会式 行わない。
- 13 代表者会議 8:15より参加チームの代表者と専門部員による打ち合わせを行う。
- 14 表彰 1位には優勝旗・1位から3位までは賞状授与
- 15 試合球 日本バスケットボール協会公認皮革検定球
- 16 役員・審判 山梨県バスケットボール協会役員、小中体連専門部員、監督、コーチ、専門部で依頼する役員

- 17 競技要項
- 1 ベンチは組合せ番号の若いチームがオフィシャル席に向かって右側、攻撃するゴールは前半、自チームベンチ側とする。
 - 2 試合前のウォーミングアップは、自チームベンチ側のコートで行う。なお、前試合のハーフタイムのアップは可とする。
 - 3 受付時に各チームは、専門部指定のファイルで作成したメンバー表をTO担当者に提出する。このメンバー表はスコアシートに貼って使用する。
 - 4 試合におけるTOについては専門部で指定された方法で行う。(事前に出される割り当てを各チームホームページで必ず確認すること。)また、チーム状況等でどうしても不都合がある場合は、事前に専門部のTO担当(猿橋中 小林峻太先生)へ連絡すること。人数が足りない場合、専門部員が協力する。
 - 5 ユニフォームは組合せ番号の若いチームが白色とする。ただし1日2試合ある場合、2試合目については相手チームと話し合い変えてもよい。
 - 6 合同チームは、統一したユニフォームを着用すること。
 - 7 ベンチでユニフォームに着替えないようにする。
 - 8 ヘアピンなど危険なものは身につけさせないようにする。
 - 9 試合再開に関わり、時間厳守と走って移動することに心がける。
 - 10 部活動指導員と外部指導者は、専門部が用意したADカードを首から掛けてベンチに入ること。
 - 11 マンツーマンコミッショナーを配置する。なお専門部員以外でも、参加チームの監督・コーチ等関係者をマンツーマンコミッショナーとして任命することがある。
 - 12 コーチライセンスを取得しているコーチは、必ずライセンスを身につけてベンチに入ること。なおE級ライセンスは自分で印刷の上切り取って作成する。
 - 13 選手・コーチ・アシスタントコーチ・外部指導者・学校関係者及び競技役員、その他関係者以外フロアへの立ち入りを原則禁止とする。※保護者観戦については会場責任者及び専門部の指示に従うこと。
 - 14 フロアにいるコーチ・アシスタントコーチ・外部指導者・学校関係者及び競技役員、その他関係者は、ADカードを首から掛けること。
- 18 注意事項
- 1 体育館内土足厳禁、逆に上履きで外に出ないこと。
 - 2 下足は各自袋へ入れて保管すること。
 - 3 カン・ビン等のゴミは必ず持ち帰る。またフロア上におしぼりなどのバケツを持ち込まないこと。
 - 4 ベンチでの補給飲料は個人持ちストロー付きボトル、スクイズボトル形式のみとする。
 - 5 貴重品は各チームで管理すること。
 - 6 保護者観戦については可とし、専門部から出される各試合会場の指示に従うこと。
 - 7 横断幕の取り付けは可とする。(試合運営に支障がないようにする。)
 - 8 TOについてはトラブルが起きないように(特に得点表示など)、よく確認させておくこと。
(顧問は後ろで指導をして下さい)
 - 9 靴下については、同じ品番の靴下とする。ただし、県内大会においては色がそろっていれば、その限りではない。
 - 10 靴下の色がそろっていないことが発覚した場合、色のそろった靴下に履き替えるものとする。プレー中に発覚した場合には、当該選手は、交代し履き替えるものとする。
 - 11 参加マナーが著しく悪いチームについては、以後の大会への参加を見送ることもある。
 - 12 会場準備・片付け、帰りの清掃は専門部員を中心に協力して行う。
 - 13 試合にトレーナーを入れるチームは、ピンク地に黒色でTの字を前後に入れたビブスをチームで用意すること。その場合、ベンチエリアには入れませんのでベンチの脇にしておくようにしてください。
- 19 競技開始時刻 第1試合9:30 第2試合11:00 第3試合12:30 第4試合14:00
- 20 その他
- ① 男女1位~4位のチームが推薦で総体に出場できる。
 - ② チーム推薦で出場できるチームのある支部の県総体への出場チーム数は1増となる。
 - ③ 男女5位・6位のチームは県総体に出場した場合には、支部の順位に関係なくそのチームが決められたシードの位置に入る。
 - ④ 男女5位・6位のチームで、県総体に出場できないチームが出た場合には、その支部の1位のチームが決められたシードの位置に入る。
 - ⑤ 支部1位の扱いについては、シードの位置(1~4位)に入った支部の2位(シードに入ったチームが複数の場合はその次の順位の学校)が支部1位の扱いとなる。
 - ⑥ 上の①~③についてはチーム数の増減によって変更がある。
 - ⑦ 合同チームが出場する場合は、単独チームと同じ扱いをする。
 - ⑧ 悪天候による延期に備え、予備日を設定する。延期する場合には前日の16:00までに判断し、HPや連絡網を利用して出場チームに知らせる。
 - ⑨ 自然災害、鳥獣被害等、予期しない事案のため、要綱に変更が出ることがある。